

ささやまTWC、全国大会へ(2月25日)



兵庫県綱引選手権大会を突破し、全日本綱引選手権大会への出場を決めた、川代体育館を拠点に活動するささやまTWC。全国的にも珍しいピンクのユニフォームに丹波篠山を背負い、「今年は予選を突破したい」と昨年のリベンジを誓いました。

U-12ホッケーに山本勇太さん(2月25日)



HC HYOGO HEARTSに所属する城東小学校5年生の山本勇太さんがU-12ホッケーオールスター戦に出場されました。全国からブロックの選考を通った男女各30人が選ばれる本大会。山本さんは「将来はオリンピック選手に」と夢を話してくれました。



丹波篠山ABCマラソン(3月2日)

小雨が時折降る中、全国から集まったランナーが丹波篠山路を駆け抜けました。今年は「生まれ変わる大会」として制限時間を6時間30分に延長し、2人1組で走るリレーマラソンの部門を創設。昨年より約2,000人多い計6,511人が参加し、約93%が完走しました。また、地元のクラブや学生、近隣住民なども沿道に集まり、お菓子や自作の応援グッズを持ってあたたかな声援をランナーに送りました。



きんまふい 110



篠山鳳鳴高校で探究成果発表会(3月6日)



篠山鳳鳴高校で生徒たちが課題を設定し、その研究成果を披露する探究Dayが行われました。1・2年生全員によるポスターセッションでは、体育館に71班が集合。生徒たちはそれぞれブースに分かれ、伝統文化・教育・福祉などをテーマに、6分以内で研究内容を発表し、生徒や関係者からの質問に答えていました。

JAグループから防災テント(2月13日)



JA丹波ささやま池本淳組合長より目録の贈呈

JAグループから、災害時などに活用できる「防災テント」一張りりが寄付されました。一昨年の「煙体験テント」、昨年の「防災テント」に続き、今年で3回目。寄付された防災テントは、今後、自治会や小学校などの訓練で活用します。

倉庫火災防ぎょ訓練(1月22日)



工場倉庫内で火災が発生した想定で、消防本部と共栄樹脂株式会社による合同訓練を行いました。従業員による初期消火、通報訓練の後、到着した消防隊が放水を実施。倉庫火災の特性、基本的な活動要領を再確認し、火災対応能力向上の機会となりました。



「丹波篠山国際博」事業 第31回 丹波篠山盆桜展

日本でも珍しい桜だけの盆栽展。市内団体の書道や俳句などの作品展示や芸能発表、お茶席と一緒に盆桜を展示します。この機会に、丁寧に手入れされた美しい盆桜や展示作品を眺めながら、癒やされませんか？

とき
4月2日(水)～7日(月) 9:00～17:00
※最終日は9:00～15:00(予定)。

ところ
丹波篠山市民センター

問い合わせ
丹波篠山盆栽会(小山) ☎090-7363-3800



黒田自治会で防災訓練を実施(2月22日)



黒田自治会で実施された防災と福祉の連携事業「誰ひとり取り残さない避難訓練」。この訓練は、災害時に支援を必要とする人の避難方法を考えて実際に避難を行うもので、当日は地域住民約100人が参加し、給水体験や毛布担架の作り方などを学びました。

和田興産(株)からのふるさと納税(2月21日)



神戸市に本社を置き、マンション開発などを手がける和田興産株式会社(溝本俊哉代表取締役社長)から、丹波篠山のブランド力向上のために1千万円の寄付をいただきました。市ではいただいた寄付金を丹波篠山国際博の事業に活用していきます。

